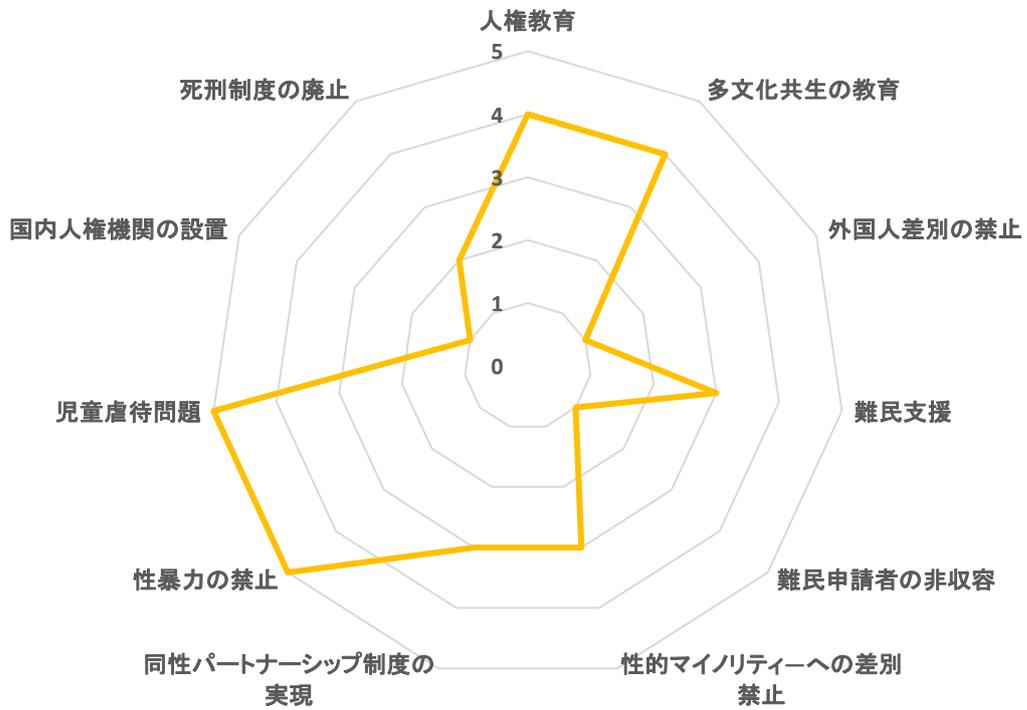


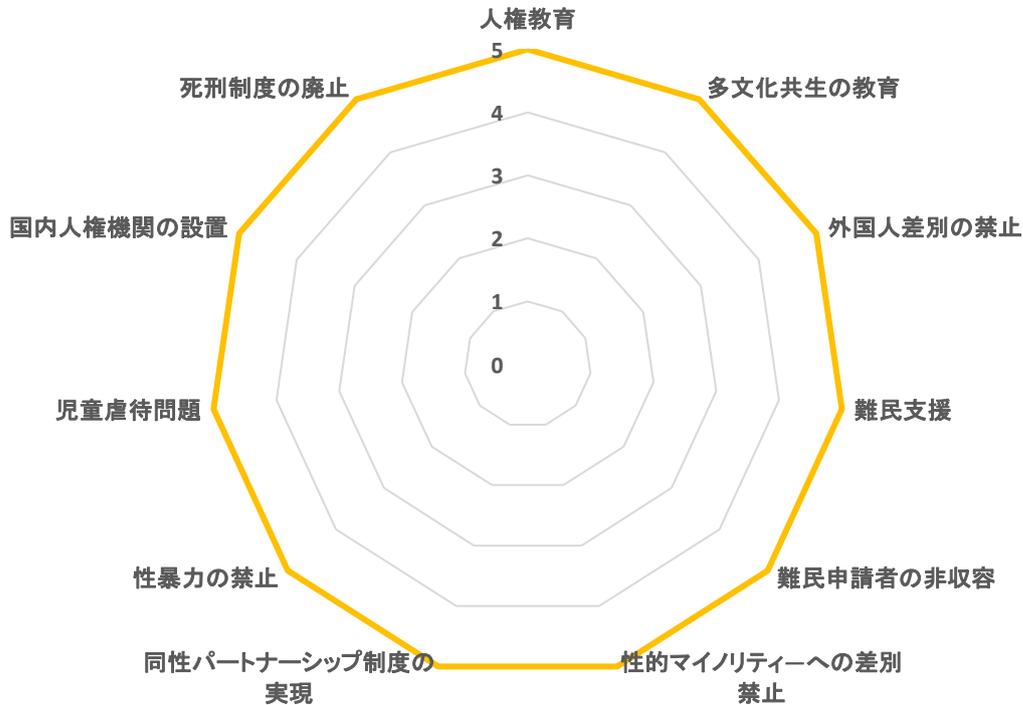
石井 準一(自民)



特に取り組みたい人権課題

インターネット上の誹謗中傷への対策に力を入れていきたい。

浅野 史子(共産)



特に取り組みたい人権課題

特に取り組みたい人権課題は、ジェンダー平等の社会の構築です。LGBTや生活保護利用者、障害者への差別、医大入試での女性差別、性暴力に対する無罪判決、亡くならないセクハラ・パワハラなど世界でも大問題になっている人権の問題で、勇気を振り絞って声を上げている人たちに寄り添い、解決に向けて全力を挙げます。以前、私も「女のくせに」と公務職場で言われた経験があります。「女性だから」「男性だから」と生き方を押し付けられることなく、どの人も「個人の尊厳」が尊重され、多様性が大切にされる社会を作りたいという思いが強くなっています。

自らの経験やこの間寄せられた声を国会に届け、男女雇用機会均等法の抜本改正や禁止規定を盛り込んだセクハラ・パワハラ禁止法を作ること、性暴力被害者への支援体制を抜本的に拡充するなど、誰もが尊厳をもって自分らしく生きられる社会を構築していきます。

このことと同時に、日本共産党が提案する「暮らしに希望を持てる3つのプラン」①8時間働けば普通に暮らせる社会に。②お金の心配なく学び、子育てできる社会を。③暮らしを支える安心の社会保障に。これを政治の責任で行い、安心して暮らせる社会にします。